

2022年事業報告書

同志社大学学生支援センター登録団体

学習支援・居場所づくりサークル 満天



一人ひとりの「やりたい」に合わせた心地よい空間を

2022年は満天が活動を始めた記念すべき第一年でした！

初めてだらけの挑戦で大変なことも多かったです、居場所を子どもと大学生で創り上げていく経験は何よりも貴重なものでした！

こうして子どもたちが実際に来てくれる居場所になっているのが本当にうれしいです！

本書では、2022年の活動の振り返りも含めて、ざっくりと報告をまとめていきます！

目次.

1. 学習支援・居場所づくり事業（8月31日から）
2. 全体会（12月7日）
3. 金曜ミーティング（12月9日から）
4. その他の活動

ボランティアサークル満天とは

同志社大学の社会福祉学科生が2022年8月に設立。同志社大学生をはじめとする京都の大学生が集まって会員30名。子どもたちが夜空の星のように輝ける社会を目指す。毎週水曜日に京都市上京区のバザールカフェで、子どもたちに勉強を教えたり一緒に遊んで、毎回子どもとスタッフ合わせて10名以上が参加しています。

1. 学習支援・居場所づくり事業

概要

8月31日より開始。毎週水曜日の16～18時にバザールカフェで同志社大学生が中心となって小学4年～中学3年を対象にした無料の学習支援・居場所づくり事業を開始した。12月21日までの間、計17回開催した。参加した子どもは平均3人/回と決して多くはないが、子どもたちがき始めてから途切れたことはなかった。

実際に子どもが来始めたのは10月の初週からだった。

9月は実際に活動を始めることが大事だと考えて、子どもが来なくても開いた。その間はメンバー同士も初対面だったことや、満天の理念を共有できていなかったことから、研修会を活動中に行っていた。

子どもが来てからは、事前にもっていたパーティゲームや庭で遊んだり、子どもが持ってきた教材を使って勉強の手伝いをするのが主な活動となっている。

また、子どもが帰ってから学生メンバーだけで活動の振り返りを基本的に毎回行っている



1. 学習支援・居場所づくり事業

活動記録

2021年12月 満天設立の意思を掲げる

～初期メンバーと満天の理念について話し合う～

2022年 5月 活動場所が見つかる

2022年 7月 ロゴとチラシのデザインを作成する

2022年 8月 チラシを作り、同小学校区の中学校に配布する
(上京区社協と北青少年活動センターに広報のことなど相談していた)

2022年 9月 活動開始(メンバー研修と交流会を行う)

2022年10月

他団体に満天のことを知ってもらい、その団体の子どもに紹介してもらった

上京子ども祭りにボランティアとして参加した。上京子ども応援団に満天も加わる

京都市ボランティアセンターに取材してもらった

子どもが来始める!

2022年11月 チラシを改良する

「京都市子どもの居場所づくり支援事業」補助金を申請する
(この頃から運営を代表だけでなく三役全員で取り組むようになる)

2022年12月 全体会を開催する

(規約の作成や年会費徴収の動き出しなど、活動が安定してきたことでサークル継続のための組織づくりに注力しはじめる)

冬で寒くなり、子どもが少なくなってくる

場所をもう一つ作ろうと構想している

2. 満天 全体会（12月7日）

サークルとして、メンバー全員が意思決定に関わる機会が必要だと考えて全体会をZoomで行いました！初回では

- ・規約の策定
- ・三役の就任
- ・年度計画
- ・予算

について参加者全員の承認を得ました！

設立時のメンバーが引退してからも、サークルが安定して運営されるようにするために、今後は全体会を年間3回以上開催し、予算と年度計画を作るよう決めました！

今後は三役だけでなく、他のメンバーも巻き込んで活動していきたいと考えています！

満天 全体会

2022年12月7日(水)

ビデオoffで大丈夫です！
今日は報告がメインで、時々皆さんにチャットやリアクションを伺います！
よろしくお願ひします！

タイムライン

- ・挨拶
- ・満天の活動
- ・規約
- ・三役紹介
- ・年間計画
- ・予算
- ・年会費の徴収

金曜ミーティング（12月9日から）

メンバー同士の交流と、水曜日の活動に参加できない人でもモチベーション維持のために毎週金曜日の18:30～20:30に同志社大学で交流会を開くことに決めました！

12月は雑談で終わりましたが、1月は勉強会を開きました。今後は参加するメンバーが固定された閉鎖的な交流会にならないように、定期的に勉強会など新しい人も入りやすい機会を作ることを目指しています！



1月13日 勉強会

「居ることに安心できる、本当に互いを尊重するとは」

きっかけは12月に開催した忘年会での反省でした。

2時間じっくりと2班に分かれてディスカッションをしながら意見を交流していきました。最後には円陣になっておのずと発言しあい、その様子はキーワードである「心理的安全性」とマッチしていたように思いました！

その他の活動

振り返りの共有

満天の活動に長らく参加できていない人にも満天の活動が見えるように、毎回の活動後に行っている振り返りをもとに共有資料を作っています！

活動の様子を残し、内外に共有することは広報やメンバーの帰属意識を高めるためにも重要だと考えています！

<h3>12/21 活動記録</h3>  	<h3>子どもたちの様子</h3> <p>シシールくん ✓いつもよりちょっと恥ずかしそうにしてた。</p> <p>✓初めは学生と一緒にinoゲームをした。最初はルールが分からないながらも参加してくれていたが、だんだん理解して楽しんでくれたかも。</p> <p>✓後半は日本語学校のことを教えてくれた。教科書を見せてくれた時とても楽しそうにしていた。自分の話を積極的にしてくれた。</p> 
<h3>学生の気づき</h3> <ul style="list-style-type: none">✓シシールは寂しがり屋。✓ほかの言語でinoのルールを説明するのが難しい。✓inoはみんな必ず話す機会があるから、互いを知れていい。テーマによっては日本に来たばかりの子どもとするのに合わないかも。 	<h3>話し合い</h3> <p>言葉が分からなくても流しちゃうダメ</p> <ul style="list-style-type: none">✓もし自分が外国語で頑張って話してて、なあなあで流されたらすごく傷つくかも。次からその言語を話すときのトラウマになる。✓自分で想像してみたら、すごくしんどい、、、✓もう一回教えて！とか聞き返したり、話を聞こうとする姿勢が大切。 
<h3>他、提案や感想など</h3> <ul style="list-style-type: none">✓部屋暖かくて最高だった♡✓久しぶりでも楽しかった！✓新年会したい！✓子どもと一緒に日本の伝統的な遊びをしたい。 <p>お疲れさまでした！</p>  	

当初は紙の振り返りシートに記録していたが、振り返りが終わってから、パワーポイントで資料を作成するようになる。

LINEグループで共有したり、一枚目をSNSに投稿にしている。継続することが一番大事！！

その他の活動

今後の予定

- ・同志社大学のサークルとして新入生を募集する！
- ・現在の活動拠点の他にもう一つ活動場所を開催する！！
- ・子どもたちの体験になるイベントを企画する！
- ・SNSなど事業活動以外も充実させていく！
- ・満天が地域の資源となれるように地域でも交流を交わしていく！

★子どもとメンバー両者にとって満天を
「自分らしく輝ける居場所」
にしていく！！